



所在地：千葉市中央区仁戸名682-67

施主：千葉県

設計：(株)日本設計

施工：安藤・三井・福田・鈴木  
建設工事共同企業体

## 高齢者、障害者に配慮した一般建築物 厚生年金サニテール千葉

千葉市仁戸名町の、大網街道に接して建てられている厚生年金生活者のための有料老人ホームである。

建物は、三角形の地形の上に、大網街道に平行して背を向ける形で9階建ての高層の棟が立ち、その奥の下り斜面に、高層棟と45度の角度で三角形の他の一辺に沿って3階建ての低層棟が配置されている。

大網街道に面して高層棟があるため、道路からの景観としては圧迫感をいねめないものの、道路の騒音を遮り、内側に落ちついた住環境を作り出すことに成功している。二つの棟に挟まれているという感がなく、高層棟は東向きで低層棟は東南向きであるが、住戸の区切りを45度振ることで、個々の住戸の向きが高層は東南向きに、低層は南向きとなり、三角形のスペースを生かして眺望の良い実に心地よいサンルームを設けるとともに、外観に波状の曲線を作り出している。

住戸内は一人用が44m<sup>2</sup>、二人用が49m<sup>2</sup>と決して広くはない。しかし諸設備は高齢者対応が十分なされており、使い勝手の良い間取りである。

特に良いのは共有部分にある。集会室、ホビー室、プール、介護室、美容理容室、食堂などに広いスペースがとられており、集会室やプールは地域の人にも開放している。

このホームは高級というのではないが、上質でありソフト面と合いまって快適な暮らしを提供している。

(川上昌子 委員)



撮影：廣田治雄



撮影：日刊建設工業新聞社